

平成15年度 東北地方整備局の
新規採択箇所等（政府原案）について

平成14年12月24日
東北地方整備局

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 仙台市青葉区二日町9-15
TEL 022-225-2171

総括：企画部 企画課長 ^{まえうち}前内 永敏（内線3151）
河川関係：河川部 河川計画課長 ^{つもり}津森 貴行（内線3611）
会計関係：総務部 会計課長 ^{うさ}宇佐 俊範（内線2411）

仙台市青葉区花京院一丁目1-20
TEL 022-716-0005
(ダイヤル)

港湾空港関係：港湾空港部 港湾計画課長 ^{いのうえ}井上 慶司

目 次

1 . 平成 1 5 年度 新規採択箇所等の概要	1
2 . 参考資料	
新規採択箇所等位置図	2
治水関係事業	3
港湾関係事業	5

平成15年度 新規採択箇所等の概要

平成15年度予算原案が平成14年12月24日に閣議決定されました。国土交通省関係では、公共投資関係費（国費）約6兆3,327億円で、我が国の経済活力と生活の豊かさの向上を実現するため、「平成15年度予算編成の基本方針」で掲げられた重点4分野への重点化を進め、政策効果の高い事業・施策に絞り込んで集中的に実施します。

そのうち東北地方整備局関係の新規採択箇所等は、以下のとおりです。

【治水事業関係】

（直轄事業）

1. 今年度までにダム本体工事が概成する“^{すりかみがわ}摺上川ダム”（^{ふくしま}福島県^{ふくしまし}福島市）
（P3参照）

においては、平成15年度にダム附属設備、管理庁舎等の管理設備を完成させ、ダム完成年度を現計画の平成18年度より1年前倒しし、平成17年度完成を目指します。

また、今後も引き続き、より一層の事業の効率化・コスト縮減を図っていきます。

（補助事業）

2. 平成4年度より建設に着手した“^{すなござわ}砂子沢ダム”（^{かづの}秋田県^{こさかまち}鹿角郡小坂町）
（P4参照）

においては、平成15年度にダムの本体基礎掘削工事に新たに着手します。

また、事業の推進にあたっては、より一層の事業の効率化・コスト縮減を図っていきます。

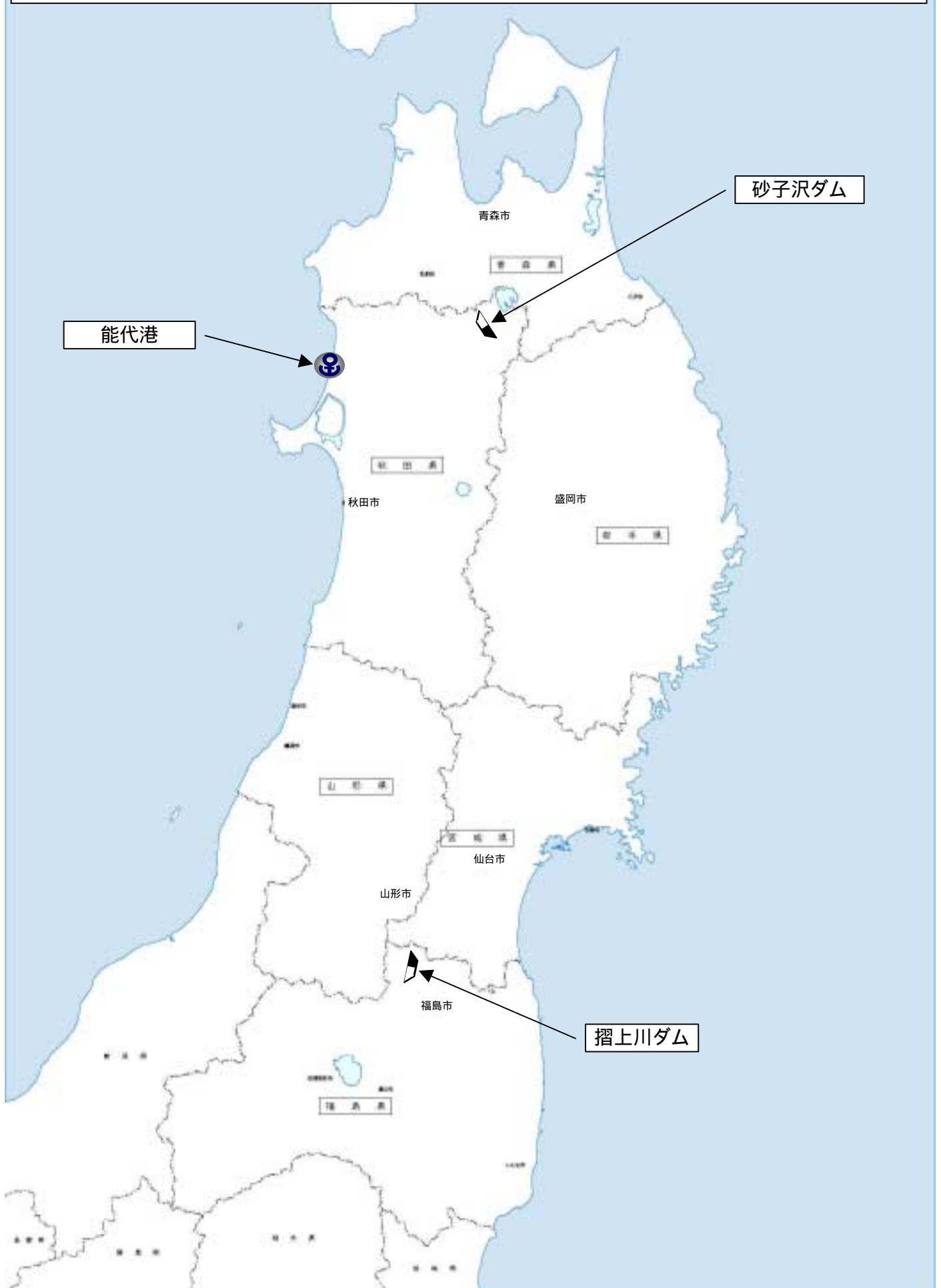
【港湾空港関係】

（直轄事業）

3. 電力の安定供給と大型石炭船等の定時性及び安全性を確保するため、
“^{のしろ}能代港”^{おおもり}大森地区（^{のしろ}秋田県能代市）において、産業関連事業（エネルギー

ギー港湾）として、航路浚渫に新たに着手します。

平成15年度 東北地方整備局の新規採択箇所等位置図



事業名	<small>すりがみがわ</small> <small>ふくしま ふくしまし</small> 摺上川ダム建設事業(福島県福島市)
事業概要	<small>あぶくまがわ</small> <small>すりがみがわ</small> 阿武隈川水系摺上川に昭和57年度実施計画調査、昭和60年度より建設事業を進めてきたもので、平成14年7月に堤体盛立完了、12月に洪水吐コンクリート打設を完了しています。平成15年度は、ダム附属施設・管理庁舎等の管理設備を完成するとともに、付替道路を概成します。 また、ダム効果の早期発現を図るために工事工程を見直し(平成16年春に試験湛水を開始する予定)、完成年度を現計画より1年早め、平成17年度完成を目指します。 総事業費:1,955億円、完成工期:平成18年度 (平成10年2月23日:基本計画変更告示) 事業進捗率(平成15年度末):96.6%
事業効果	<small>あぶくまがわ</small> 阿武隈川の浸水被害の軽減を図ります ダム地点で820m ³ /sの洪水調節により、ダム下流の浸水被害の軽減を図ります。 既得用水の安定化及び河川環境の保全等のための流量を確保します <small>にしねしもせき</small> <small>せのうえ</small> ダム直下で1.5m ³ /s、西根下堰で2.1m ³ /s、瀬ノ上で2.8m ³ /sを安定的に確保することにより、既得取水の安定化及び河川環境等の保全を図ります。 安定した農業用水を供給します 阿武隈川及び摺上川沿岸の約4,200haの農地に対して、安定したかんがい用水の補給を行います。 安定した水道用水を供給します 福島地方水道用水供給企業団(1市11町)に対して、1日最大249,000m ³ の水道用水を供給します。 工業用水を供給します 福島県に対して、1日最大10,000m ³ の工業用水を供給します。 環境負荷の少ない水力発電を行います 摺上川発電所(東北電力株)において、最大出力3,000kwの発電を行います。

堤体盛立完了(平成14年7月) <下流から見たダム堤体>



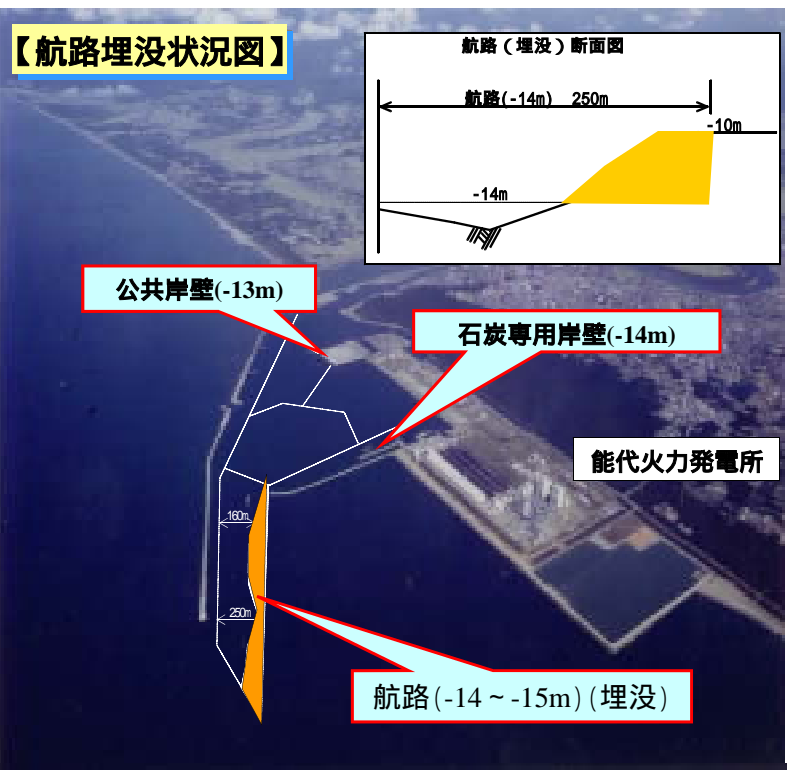
事業名	<small>すなござわ</small> 砂子沢ダム建設事業(秋田県鹿角郡小坂町)
事業概要	<small>よねしろがわ</small> <small>こさかがわ</small> <small>すなござわがわ</small> 米代川水系小坂川支川砂子沢川に昭和60年度実施計画調査、平成4年度より建設事業を進めてきたもので、現在、仮排水路工事及び工事中道路工事を実施中であり、平成15年度は本体基礎掘削工事に着手します。 【ダム諸元】 形 式：重力式コンクリートダム 高 さ：78.5m 総貯水容量：8,650千m ³
事業効果	<small>こさかがわ</small> 小坂川の浸水被害の軽減を図ります ダム地点で100m ³ /sの洪水調節により、ダム下流の浸水被害の軽減を図ります。 河川の正常な流水を確保します 下流の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進を図ります。 安定した水道用水を供給します <small>かつの</small> <small>こさかまち</small> 鹿角市、小坂町に対し、1日最大4,600m ³ の安定した水道用水を供給します。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ダム予定地</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>仮排水トンネル(吐口部)</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>工事中道路</p>  </div> </div>

事業名	産業関連事業(エネルギー港湾) 能代港大森地区航路(埋没) (秋田県能代市)
事業概要	<p>能代港の能代火力発電所においては、平成5年度から運転を開始し、燃料となる石炭を5万トン級石炭船で年間34回、約270万トンをオーストラリア等から輸入し、年間120万kwの石炭火力発電を行っています。</p> <p>近年、火力発電所に輸入燃料炭を搬入する大型船等の航行する港口部の航路は、冬季風浪等による漂砂による埋没が進行し、大型船の運航に支障をきたしております。このため、航行船舶の定時性と安全性を確保し、電力の安定供給に資するため産業関連事業(エネルギー港湾)として、航路浚渫と恒久的な埋没対策工を新たに着手します。</p>

事業効果	<p>大型船舶の安全航行を確保します。 大型船舶の喫水調整や積載制限、船型の小型化を回避します。</p> <p>電力を安定供給します。 航行船舶の定時性・安定性を確保し、電力の安定供給を図ります。</p> <p>恒久的な埋没対策を図ります。 冬期風浪等による沿岸漂砂から、航路の埋没を回避します。</p>
------	---



能代火力発電所
1号機 H5.5 運転開始
2号機 H6.12 運転開始
発電出力 約120万kw
石炭輸入量 約270万t(H13実績)



消流雪用水導入事業の拡充

1. 目的

水量の豊富な河川から市街地を流れる中小河川等に消流雪用水を供給する導水路等の整備を行うことにより、河道疎通能力の阻害となる河道内の堆雪の排除、消流雪用水としての地下水利用の河川水への転換による地盤沈下対策及び導水路等を活用した内水対策等を図る。

2. 内容

現行の事業対象区域は主に都市部を対象としており、特別豪雪地帯の中でも積雪深が大きく積雪日数が多い地域についても、消流雪用水導入事業の必要性が極めて高いため、採択基準の全面的な見直しを行い、当該地域も対象とした上で必要性・緊急性の高い市街地について事業の推進を図る。

3. 科目等

(項) 河川事業費

(目) 直轄消流雪用水導入事業費

【負担率 1 / 2】

(目) 統合河川整備事業費補助

(目細) 統合一級河川整備事業費補助

【補助率 1 / 2】

(目細) 統合二級河川整備事業費補助

【補助率 4 / 10】



流量が少なく、効率的な排雪ができない

導入前



効率的な排雪が可能に

導入後



歩行者の歩くスペースがなく危険なうえ、道幅の減少による車の渋滞が発生

導入前



歩行者の安全性が確保され、車の走行もスムーズに

導入後

「平成15年度 河川局関係予算内示要旨」より